

水生生物調査

1 目的

区が実施している水質調査の補完を目的として、5年ごとに区内河川・海域（運河）の水生生物を調査し、経年変化を把握するとともに水辺環境を総合的に捉えている。

2 調査概要

河川・海域（運河）の水生生物の採集及び定性・定量試験並びに水質・底質調査を行う。

(1) 現地調査日 平成25年7月22日(月)～24日(水)

(2) 調査地点及び調査項目

調査地点 調査項目	隅田川	神田川	日本橋川	亀島川	築地川	朝潮運河	公園	佃小橋
	中央大橋	浅草橋	日本橋	亀島橋	大手門橋	黎明橋	石川島公園	佃川支川
魚類 (投網・手網)	○	○	○	○	○	○	○	○
魚類 (網かご・竹筒)	○	○	○	○	○	○	○	○
底生生物 マクロベントス	○	○	○	○	○	○	△	○
底生生物 メイオベントス	○	○	○	○	○	○	△	○
付着生物	○	△	△	○	○	○	○	○
水質	○	○	○	○	○	○	△	○
底質	○	○	○	○	○	○	△	○
気象	○	○	○	○	○	○	○	○

(3) 調査方法等

- ・魚類 調査船上から投網、手網又は網かご等による採集を行い、測定後直ちに放流する。

調査項目：種の同定、採集量、全長、体長、体重、奇形有無、写真撮影等

- ・底生生物（マクロベントス・メイオベントス）

調査船上から採泥器により底泥を採集し、ホルマリン固定し調査する。

調査項目：種の同定、種別個体数、写真撮影等

- ・付着生物 潜水土により1調査地点当たり3区画程度を目視観察で調査する。

調査項目：種の同定、種ごとの被度（大型種は個体数）、写真撮影

- ・水質調査 調査船上から流心の表層（水面）と下層（水底上1m）の2層から採水し分析する。

調査項目：水温、透視度、色相、臭気、水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(DO)、生物化学的酸素要求量(BOD)化学的酸素要求量(COD_{Mn})

- ・底質調査 調査船上から採泥器により底泥を採集し、測定・分析を行う。

調査項目：底質の状態（堆積物、砂、シルト等、色相、酸化還元電位、臭気、泥温等、水分、強熱減量、pH、粒度組成、全有機炭素、硫化物、COD_{sed})

- ・気象観測 現地調査の実施時に気象観測を行う。

観測項目：天候、気温、湿度、風向、風速

(4) 調査報告期限

平成25年11月29日

3 所要経費

水生生物調査（契約金額 174万円）

冊子「川のなかのいきものたち」 3,000部 76万円

4 今後の予定

調査結果を取りまとめ、「川のなかのいきものたち」を発行する。小学生向けの環境学習に活用する。